



# あお うみ うつく 青い海が美しいですね。

こんかい うみ かん かんじ  
今回は、「海」に関する漢字をしょうかいします！



# 白川文字学

## ニュース

発行 H29.8  
福井県教育委員会  
生涯学習・文化財課  
No.5

# 【瀉】

15画 かた

潮が引いて干瀉（遠浅の海岸で、潮が引いてあらわれた所）となるような地形を「瀉」といい、「かた、ひがた」の意味に用いる。  
（白川静『常用字解』『字通』より）

百人一首には、二条院讃岐の次のような歌が入っています。二条院讃岐は、二条天皇と後鳥羽院中宮に仕えた歌人です。遠敷郡宮川村（現小浜市宮川地区）は父が治めていた土地で、夫は、この宮川を守っていました。この歌の「沖の石」は、小浜市の海に見える沖の石だといわれています。  
（古典音読・暗唱ノート《小学校》七ページにもなっています。）

我が袖は、潮干に見えぬ 沖の石の

私の着物の袖は 潮が引いても 見えない 沖の石のように

人は 気づかないけれど あの人を思う恋の涙で 乾く間もない  
人こそ知らね 乾く間もなし

二条院讃岐

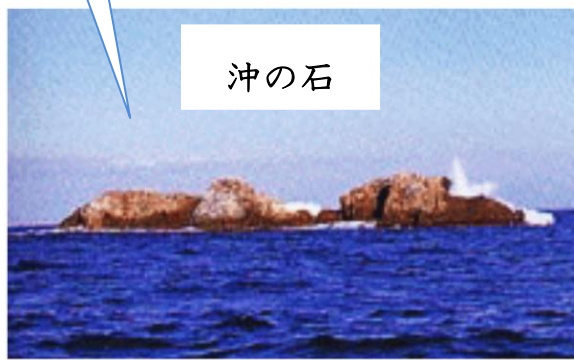
# 【沖】

7画 チユウ おき



水の深い静かな様子を表す。動きをうちに秘めた静かな状態をいう語。日本では、水辺を遠く離れた「おき」の意味に用いる。  
（白川静『常用字解』『字通』より）

海に入るときには、沖まで行かないように気をつけてね！



沖の石

小浜市北部、若狭湾中の石



瀉

潮が引くと 地面があらわれる海岸

「白川文字学ニュース」では、新学習指導要領で新しく学習する20字の漢字を紹介しています。  
茨媛 岡瀉 岐阜 熊香 佐崎  
崎滋 縄井 沖枋 奈梨 阪鹿